

治療審査委員会申請書類

患者ID : _____

患者氏名				生年月日			年齢			性別				
診療科			区分	☐	階病棟		☐	外来		申請医師名				
診断名								Stage			Performance Status			
告知内容														
治療方法	プロトコール名	アブラキサン療法（パクリタキセル・アルブミン懸濁型）									告知Grade			
投与計画	身長		cm		体重		kg		体表面積				m ²	
	☐ A法		アブラキサン				mg（標準量260mg/m ² ）		d1		インターバル3週			
	☐ D法		アブラキサン				mg（標準量100mg/m ² ）		d1,8,15		インターバル4週			
	A法はDay1、D法はDay1,8,15													
	① 生食50ml + テキサート6.6mg 1V 100ml/hr													
	② 生食100ml 本体ルートに使用													
	③ アブラキサン _____ mg + 生食100ml 30分かけて投与（投与量に応じて流速調節）													
	※1Vあたり生食20mlで溶解し溶解後は希釈しない ##### ml													
	※アブラキサン501mg以上は、溶解用の生理食塩液20mlを追加オーダーが必要です。													
			A法（260mg/m ² ）				D法（100mg/m ² ）							
中止基準		好中球<1500/μL 又は 血小板<10万/μL				好中球<1000/μL 又は 血小板<7.5万/μL								
減量基準		・7日以上にわたって好中球500/μL未満 ・血小板5万/μL未満 ・発熱性好中球減少症 ・末梢神経障害Grade3が発現した場合には、 軽快またはGrade1以下へ回復後に減量して再開				・好中球500/μL未満 ・血小板2.5万/μL未満 ・発熱性好中球減少症 ・末梢神経障害Grade3が発現した場合には、 軽快またはGrade2以下へ回復後に減量して再開								
減量目安		1段階減量 220mg/m ² 2段階減量 180mg/m ²				1段階減量 80mg/m ² 2段階減量 60mg/m ²								
投与開始日 _____ 年 _____ 月 _____ 日														
併用薬の確認														
B型肝炎check		HBs抗原（ ）⇒ HBc抗体（ ），HBs抗体（ ）⇒ HBV核酸定量 0.9L.IU/ml （ ）												
予測される副作用		骨髄抑制、感染症、末梢神経障害、麻痺、脳神経麻痺、ショック・アナフィラキシー、間質性肺疾患 急性呼吸窮迫症候群、心筋梗塞、うつ血性心不全、脳卒中、肺塞栓、肺水腫、血栓性静脈炎、難聴 耳鳴、消化管壊死、消化管穿孔、消化管出血、消化管潰瘍、重篤な腸炎、腸管閉塞、腸管麻痺、肝機能障害 黄疸、膵炎、中毒性表皮壊死融解症、皮膚粘膜眼症候群、播種性血管内凝固症候群												
備考		フィルター付ルートは使用しない（懸濁液）												
採否		☐ 承認 ☐ 再検討 ☐ 不許可												

担当委員署名 _____

許可決定日時 _____ 年 _____ 月 _____ 日 有効期限 _____ 年 _____ 月 _____ 日